

宮地小学校における環境学習会

3月4日(火) 八代市立宮地小学校において環境学習会と「カキ殻による河川浄化大作戦」を開催しました。学校での環境学習会は初めてのことなので、どうなることかと心配しましたが、なんとか無事終了しました。子供たちや先生方も喜んでくれて、とてもいいイベントになりました。

二見漁港近くでのカキ殻拾い
ネイチャー八代、市環境課 宮地小PTA、大学生の皆さんと一緒にがんばりました。



子供たちからのお礼の言葉
子供たちからの「ホタルの飛び日がたのしみです。」の言葉に会員たちも胸がジーンときました。

みんな一緒にテーマソング

「むたゆうじ」さん作曲の「星と祈りの詩」を披露。手話をアレンジした振り付けに子供たちも合わせてくれました。



創作劇「しずくちゃんの冒険」

浜田さん演じるしずくちゃんに子供たちの目もくぎづけ。途中、クイズもあってとても盛り上がりました。



しずくちゃんの冒険

説明
子供たちに浄化作用を
シジミ貝が米のとき汁をきれいにしている様子を顧問の森田先生が説明。子供たちもその結果にびっくり。



カキ殻による河川浄化大作戦

川の中に設置されたカキ殻

きれいに設置されたカキ殻。なんとなく川の水もきれいに見えるから不思議。



カキ殻を川の中に投入

子供たちから大人へカキ殻の袋がどんどんリレーされて川の中へ。



子供たちも一緒にカキ殻の袋を新川へリレー
重い重いと言いながらも元気にカキ殻の袋をリレーする子供たち。



宮地小学校 環境学習会 進行表			
時間	作業内容	担当者・係	場所
午前 9:00	カキ殻拾い	委員・PTA保護者・環境課	二見漁港現地集合
午前 11:30	昼 食	委員	宮地公民館
正午	準備	委員	
午後2:05	開会挨拶(2分)	松浦ゆかり	
午後2:08	挨拶(3分)	宮地小学校校長先生	
午後2:13	挨拶(3分)	PTA会長	
2:16	手話ダンスでテーマソングを歌う	浜田律子:全員	宮地小学校体育館
2:26	環境学習会:「しずくちゃんの冒険」 (水の循環を会員が演じる)	会員全員 高専学生・環境課	
3:00	休憩		
3:05	牡蠣殻投与実施	参加者全員	
4:00	閉会の挨拶 お礼の言葉	和久田敬史 5年生全員	宮地小学校前の新川

子供たち・先生・会員の感想

この環境学習会のあと宮地小学校の5年1組のみんなと担任の先生からお礼と感想のお手紙をいただきました。その中の一部を紹介いたします。また、今回も冷たい川の中に入りカキ殻を設置していただきました会員の鶴崎さんにも感想をいただいています。

千々波充くん(5年生)

次世代のためにがんばる会の皆さんこんにちは。この間はありがとうございました。

劇やクイズはとてもおもしろかったです。とてもわかりやすい説明で教えていただきありがとうございました。カキ殻を入れるときは、とてもきつくて重かったです。僕はカキ殻で川がきれいになるとは知りませんでした。でも今、学校の前の川はきれいになったと思います。また、学校に遊びに来て下さい。

江上友望さん(5年生)

こんにちは。この前は、お忙しい中、来ていただきありがとうございました。浜田さんや、次世代のためにがんばる会の方がやって下さった「しずくちゃんの冒険」で、水の大切さがわかりました。しずくちゃんが、肩からかけていた、マフラーのようなものが、少しずつ、濃い茶色になっていくのに気づきました。学校の前の川はカキ殻を入れた2日後くらいには、もう魚が住んでいました。私はきれいになった証拠かな、と思います。でも、今見たらゴミがひっかかっています。ホタルが住めるまでまだまだかかりそうです。これからもカキ殻を入れたところの変化を1日1日見ていきたいと思います。

森下千聖さん(5年生)

次世代のためにがんばる会の皆さんこんにちは。この前いっしょに宮地小学校の前の川にカキ殻を入れましたね。以前の川に比べて、今はきれいになってきました。小さな魚が泳いでいるところをよく見かけるようになりました。カキ殻を入れるだけでこんなにきれいになるとは思っていませんでした。お忙しい中、私たち5年のためにカキ殻までとってきて下さりましてありがとうございました。これから私たちが卒業しても、また継いでいってもらう人たちが続けて前の川にホタルがかえってくるのを楽しみにしています。

これからもこのお仕事を続けて、地球全体の水をきれいにしていって下さい。ありがとうございました。

鶴崎信二さん(がんばる会会員)

宮地小での総合学習の一日、皆様、早朝から夕方まで大変お疲れ様でした。牡蠣ガラ投入による河川の浄化作戦=環境保全活動はゆっくりとはありますが確実にその輪を広げつつあると確信した一日でした。

私達、会員の願いは、ご承知のとおり究極的には市内全域の川、水路にせせらぎを呼び戻すことであり、また、地域活性化に貢献し、行政に気づいてもらうことであります。今、一人一人の力の力が行政を転換させていく最大の機会です。そのために、私達に求められるものは、率先して意見を述べ、継続した行動をとることではないでしょうか。

私達、がんばる会の行動力で現実から目をそむけて久しい、地域社会、行政、ひいては政治の流れを転換させましょう。古き良き時代の地域社会の伝統を再確認すること、河川、水路にせせらぎを呼び戻すことは互いを補完し合う最良のアクションプランです。

「先生、学校前の川に、子どもたちと一緒にかきがらを入れたいという話が来てますよう。」という話を聞いたとき、以前読んだ新聞記事を思い出しました。『かきがらで水の浄化ができる』ということです。

本校の5年生では、総合的な学習の時間に『環境』についての学習をしています。その内容を少し紹介させていただきます。

【自分にできることから始めよう - 宮地の環境を守るために - 】というタイトルをつけ、多くの人達の協力を得て、子どもたちと共にいろいろなことをやってきました。

6月、食糧事務所の応援で「バケツ稲」を育ててみました。7月、市環境課の方と一緒に、ホタルの里公園で水生生物の採取をし、水無川の水の汚れを調べました。9月、油、洗剤、米のとぎ汁など、たくさんのお家庭排水を持ち寄り、バックテストで調べる実験をやってみました。これらの活動を経験しながら、子どもたちの環境に対する意識も少しずつ変わってきました。

「米を作るためには、きれいな水が必要なんだ。」

「ホタルの里公園付近の水はきれいだったけど、自分たちの家の近くの川の水はどうだろうか。」

「家庭排水でずいぶん汚れるんだな。」

「環境を守っていくために、自分たちにできることは何かないだろうか。」

という意識の高まりです。

ささやかな実践も始まりました。水を大切に使うため、給食後の牛乳ピンをバケツの水で洗い、その水は草花にかけます。また、プリント用紙は裏表印刷で無駄なく使います。

さらに、11月、児童用玄關にダイオキシンの濃度測定用のクロマトを植え、水俣見学旅行でゴミの分別や4R活動についても学んできました。

水や空気の汚れ、ゴミの分別の学習を重ねた、こんな時期でした。「かきがら入れ」のお話をいただいたのは。

本当にありがたい申し入れでした。環境についての学習は、教室内だけの学習では限界があります。設備や教材がそろえにくく、大切な体験学習ができにくいのです。でも、校外の施設にたびたび出かけていくのもままなりません。ですから、こういう取り組みで学校に声をかけていただくのは大変ありがたいことなのです。本校の5年生も、喜んでそのイベントのお仲間に入れていただくことにしました。

3月4日午後、子ども達を引率して体育館に入ったとき、まず人数の多さにびっくりしました。たくさんの方々がこのイベントにスタッフとして参加しておられました。

顔馴染みになった市役所環境課の方々、カイワレ大根の実験の時の浜田さんと「ネイチャー八代」の方々、ダイオキシン学習・クロマト植樹のときの「八代の環境を考える会」の長尾さん、「次世代のためにがんばる会」の松浦さん、大学の先生、学生さん、高専の生徒さん、PTAの方々...

講話は、「しずくちゃんの冒険」という劇で始まりました。

みわろの山から流れてきたひとしずくの雨が、宮地の川を流れていながら、子ども達にクイズを出していきます。簡単なクイズから少し難しい問題や「かきがらの働き」・「自浄作用」についての大学の先生の解説など、子ども達も引き込まれていました。舞台装置や衣装、ストーリーなども子供向けに練られており、よくできているのに感心しました。

講話が終わって、いよいよかきがら入れの始まりです。

このかきがらは、諸団体の方々、PTAや地域の方々が苦労して、二見の海岸で取ってこられたものです。トラック4～5台分のネットに入ったかきがらを大人も子どもも一緒になって、バケツリレーの要領で川岸まで下ろしていきます。重いのが汚れたりぬれたりしましたが、子ども達もよくがんばってくれました。

そして、幅5メートルほどの川に2ヶ所、かきがらが敷き詰められました。それだけで少し水がきれいになったような気がしました。

その日の放課後のことです。

「先生、水がきれいになってるよ。」

「小さい魚がいっぱいよってきてるよ。」

さっそく、かきがらを見に行ったら子ども達から報告が入りました。その後、掃除の時間にかきがらにひっかかったゴミを拾ってくれる子ども達の姿を見かけるようになりました。毎日、川を見に行く子どももいます。

自分達の体を使って働いたこと、地域の人たちと一緒にやったことを経験すると、教師が指示しなくても、こんな行動ができるようになります。おかげで、子ども達の環境に対する関心や行動がいつそう深まってきました。確実に、大人の心は子ども達に伝わりました。

小さいうちから身近な環境を守ることを教えていくことは、とても大切なことだと、私は考えています。そしてそれは、学校に限らず家庭や地域でも、子ども達に教え伝えていくべきことなのです。地域の環境を守ることは、私達の暮らしを守ることにつながり、ひいては私達の命を守ることにつながります。

今後、学校から地域へ、また地域から学校へという双方向の発信をしながら、お互いのつながりを深め、子ども達の心情を育て、地域の環境を守っていくよう努力していきたいと思います。

子ども達が大きくなったころ、ホタルの群舞が見られたらすばらしいと思います。

今日も、たくさんのお花びらがかきがらの上を流れていきます。

ご協力ありがとうございました

今回のイベントでも多くの方々にサポートしていただきました。紙面の都合上、簡単ではございますが、ご紹介させていただきます。本当にありがとうございました。

- **ネイチャー八代の皆さん**(カキ殻拾い、劇、カキ殻投入すべてにおいてご協力いただきました。)
- **市環境課の皆さん**(カキ殻拾い、COD・水生生物調査、カキ殻投入にご協力いただきました。)
- **宮地小PTAの皆さん**(カキ殻拾い、カキ殻投入にご協力いただきました。)
- **吉村先生とお仲間の皆さん**(しずくちゃんの衣装作り、お昼ごはんにお世話になりました。)
- **高専の学生さん**(劇中のクイズでお手伝いいただきました。)
- **文教大・熊大の学生さん**(カキ殻拾い、劇中のクイズ、カキ殻投入にご協力いただきました。)